



愛さぽーと

災害ボランティアセンター設営訓練 ～天災に備えて～



本会では、市の「寒河江市災害ボランティア活動指針」を踏まえ、関係機関と協議を重ね、平成26年3月に「寒河江市災害VC設置運営マニュアル」を策定しました。

そのマニュアルに基づき、10月5日の市の防災訓練にあわせ、柴橋小学校で、災害VC設営訓練を実施しました。

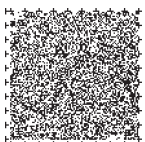
訓練には、青年会議所や自主防災組織連絡協議会等の方々のほか、ボランティア役として地元柴橋地区の皆さんからも参加していただきました。災害対策本部と連携した情報収集、災害VC設置の決定、災害VCの組織やレイアウトの検討を行った後、柴橋地区の3件のお宅から寄せられた家屋の片づけニーズにボランティアを派遣するところまでの一連の流れを確認し、災害VC運営のイメージを参加者全員が共有しました。

今後、本会では、独自に講座を開催して、災害VCの運営協力者を養成していきます。

もくじ

- 表紙 災害ボランティアセンター設営訓練・・・1
- 地域見守りネットワーク事業……………2
- 事例発表……………3
- 社協とびっくす……………4、5
- 受賞おめでとうございます……………6
- H26年度社協会費・共同募金報告……………7
- 社協じょうほう……………8
- ボランティア情報……………9、10

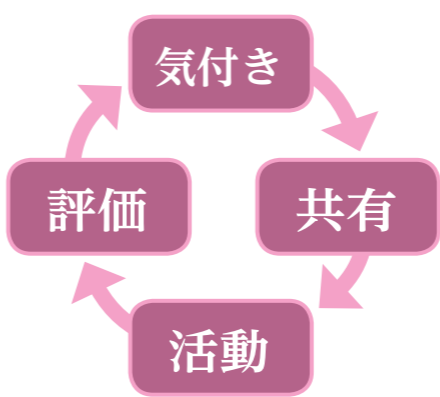
これは視覚障がい者のための音に変わる、音声コードです。



お互いさまの支え合いが始まっています

今年度から高齢者のひとり暮らしの方などを見守る「寒河江市地域見守りネットワーク事業」が始まりました。皆さんの地域の地域福祉推進員の方々が中心になって、341名の見守りの必要な方を、日々さりげなく見守って下さっています。1月に地域福祉推進員の研修会が開催され、活動の重要性を改めて認識しました

見守りの必要な方は、女性が男性のおよそ2倍、そして80代の方が圧倒的に多いことがわかります。南部地区では65歳以上の人口の中の5.4%の方々を対象に見守って下さっています。これは一人の推進員が3〜4人を担当して見守りをしていることとなります。お互いさまの支え合いが着実に広まっていることを感じさせる数字です。



これからの地域づくりは、住民の誰もが住み慣れた地域の中で、心豊かに安心して暮らせる仕組みを作り、持続させていくことが求められています。地域福祉推進員、民生児童委員、町会長が連携を取りながら上図のようなサイクルで、地域の高齢者の見守り活動等を進めてくださっています。新たに見守りの必要な方が出てきた場合は、地域福祉推進員の方に教えてあげてください。皆さんの気づきが活動を支えます。

高齢化社会のますますの進展に伴い、福祉の課題は増大するばかりです。行政などに過度に依存することなく、自助、共助、公助の連携で解決しようとする取り組みがごこの地域でも、とても大切な時代になってきました。私たちは、自分ができる範囲で、相手が求める支援や援助に笑顔で応えることが地域の福祉を向上させる大事な要件です。

地区名	町会	推進員	対象者		合計	65才以上人口		A/B %	年代			
			男	女		A	B		60代	70代	80代	90代
寒河江	98	105	38	67	105	4,664	2.3	6	23	39	9	
南部	17	21	22	52	74	1,373	5.4	6	18	40	10	
西根	17	19	8	16	24	1,170	2.1	0	8	15	2	
柴橋	32	37	17	30	47	1,512	3.1	4	11	23	9	
高松	8	18	5	19	24	1,056	2.3	0	1	21	2	
醍醐	12	12	4	5	9	408	2.2	0	2	5	2	
白岩	11	18	13	24	37	1,105	3.3	4	9	21	3	
三泉	6	8	7	14	21	579	3.6	1	4	16	0	
計	201	238	114	227	341	11,867	2.9	21	76	180	37	
									6.7%	24.2%	57.3%	11.8%



1月16日におこなわれた第2回地域福祉推進員研修会では、157名の地域福祉推進員が出席して町会長、民生児童委員、地域福祉推進員それぞれの立場から、事例の発表をいただきました。次のページに紹介しますので、皆さんの地域の福祉について考える参考にしてください。

事例発表

町会長の立場から



小山 壽夫氏 (西根地区)

君田町の町会長と福祉推進員を兼務しています。私の地域では「見守り部会」を立ち上げ、町会長、各地区を担当している民生児童委員、福祉推進員で構成しています。見守り世帯の選定は民生児童委員と相談して決定しました。実際の活動に入る前に民生児童委員が訪問して見守り活動について説明して同意を得ました。

民生児童委員の立場から



岡澤 利夫氏 (南部地区)

私は西浦1、西浦2を担当しています。南部地区は、約1640世帯、人口約5130名、17町会があり、福祉推進員21名と民生児童委員9名が連携を取り、見守り活動に取り組んでいるところです。主な活動として、年度当初に南部地区社協で町会長・福祉推進員・民生児童委員の顔合わせ会を実施し、5月の民生児童委員活動強化週間に合わせて民生児童委員と福祉推進員が紹介を兼ねて見守り対象者に訪問します。対象者を中心に近隣者・町会長・民生児童委員・福祉推進員で見守り部会をもち、日々の声掛けや見守りを行っています。南部地区社協では、南部地区の福祉情報を掲載する「南部地区福祉だより」を発行しており、対象者に訪問しながらお知らせしています。

この見守り活動は、町会長・民生児童委員・福祉推進員がお互いに理解と信頼をもって情報を共有し三位一体となって推進していくことが大切だと感じています。

福祉推進員の立場から



大江 美喜子氏 (三泉地区)

下河原の福祉推進員を務めています。下河原は102世帯あり、今回の任期から町会長から引き継いで女性推進員2名で活動しています。町会長、民生委員、各関係者の方々と話し合いをもち、ひとり暮らし高齢者など見守り対象者の選定を行いました。対象にあがった8名の方と顔合わせを兼ねて公民館で芋煮会を実施しました。楽しく語り笑いの絶えない時間を

過ごすことができ、コミュニケーションが取れ訪問活動がしやすくなりました。また、下河原町会で福祉懇話会があり、その中で、隣組長に市報を配布する際の声掛けをお願いしたところです。除雪が心配で訪問した時は、「もう何年も近所の方がやってくれて助かっている。」とのこと、隣近所の皆さんにもご協力いただいています。

高齢者の方や子育て世代の方などと地域の公民館を利用しながら交流する機会を大切にしながら福祉活動を進めていきたいと思えます。

福祉推進員の立場から

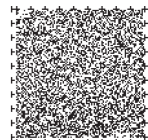
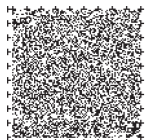


坂野 修悦氏 (寒河江地区)

元町7町会で推進員をしています。元町地区は寒河江中部小学校がある地区で元町1町会から元町10町会で元町区を構成しており、500戸ほどの世帯があります。

元町では、町会長が福祉推進員を兼ねており、毎月、町会長会議を開催し懇談会も行っています。活動内容は、高齢者世帯に敬老会の案内、出欠確認のため訪問します。

今後の見守り活動も、町会長、民生児童委員、福祉推進員が話し合いの場をもち、連携を取り合っけて地域福祉活動を充実させていきたいと思っています。



1/19～21

視覚障がいの方のための音声パソコン教室

1月19日(月)、20日(火)、21日(水)の3日間、市技術交流プラザで『視覚障がいの方のための音声パソコン教室』を開催しました。

視覚に障がいのある方に情報収集や情報伝達をする手段のひとつとしてパソコン操作を習得してもらうため、昨年引き続き実施しました。

教室では、5名の参加者が、NPO法人障がい者情報支援ネットワーク・あいむネットの講師・サポーターの丁寧な個別指導のもと、音声ガイドにより、パソコンの基礎となる文字入力からインターネットや電子メールの仕方まで学びました。

参加者からは、「インターネットを利用することで音楽を聴いたり市報を読んだりできて楽しみ方がたくさんあると感じた。」「キーの操作やキーの目的がわかってよかった。3日間学んだことを家でも復習したい。」「市内にはもっと仲間がいるはず。多くの人から参加してもらいたい。」などの感想をいただき大変有意義な教室になりました。



あなたの地域でも

ふれあいサロンをはじめませんか?

～さあ、ここにあなたを待っている仲間がいます～

ふれあいサロンとは、歩いていける地域の公民館などに定期的に集い、お茶を飲みながらおしゃべりしたり、健康のため体操したり、時にはお出かけしたり、楽しいひとときを共に過ごす「交流による仲間づくり・いきがづくり」の活動です。

現在、市内では民生児童委員さんや町会の役員の方々が担い手となり、13のサロンが活動しています。合言葉は楽しく、気軽に、無理なく・・・

あなたの地域でも“楽しく集う憩いの場所づくり”を始めてみませんか?

本会では、新規立ち上げや運営全般の相談と支援、講師・活動内容(メニュー)の紹介、運営費の助成などを行います。

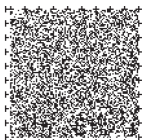
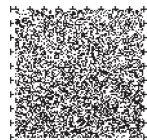
お気軽にご相談ください。



参加者が
主役です!

ふれあいサロン・・・

- 開催場所: 歩いて行けるところで、継続して実施できる場所
(地区公民館、集会場、社務所、施設内の会議室、空き店舗など)
- 内容: 参加者同士で自由に決めます。誰もが参加しやすい内容を!
- 参加人数: 5～20名程度でお互いの顔が見えるくらいが理想的
- 回数: 月1回・週1回など自由に(計画を立てて定期的に)
- 参加者募集: 声掛けなど近所の方に広く周知(チラシ配布や地区内の回覧等の方法も)
- 費用: 長続きするように、参加費をみんなで負担
本会で運営費の1/2以内(上限100,000円)を助成します。



9/4

避難者支援事業 ～最上川舟下り～

東日本大震災より4年が経とうとしている現在も寒河江市には190名の避難者が生活しています。本会では、平成24年度より2名の生活支援相談員を配置し、避難者のお宅を訪問し相談を受けて、孤立の防止に努めています。

この度避難者同士の親睦を図りながら、山形の名所を知ってもらうため、9月4日(木)に、最上川舟下りを実施しました。2歳から83歳までの16名の方が参加され、晴天のもとさわやかな秋風に包まれながら、1時間の舟下りを楽しみました。川の途中には舟のコンビニがあり、アユやこんにやくなど山形の味覚を味わいました。また、舟に揺られながら食べるお弁当も風情があり一段と美味しく感じました。帰りには庄内映画村資料館に立ち寄り、「おしん」や「座頭市」などの撮影時に使った衣装やセットなどを見学し、「初秋の山形」を満喫しました。

避難者の方々は、寒河江での生活にも随分となれ、市民の皆さんとも顔見知りができ、また、避難者同士のつながりもできて地域に溶け込もうと頑張っています。



10/11

ひとり暮らし高齢者ふれあいの集い～いも煮会～

10月11日(土)、市内でひとりで暮らす高齢者の方々を対象に、チェリーランドで“ふれあいの集い・いも煮会”を開催しました。山形の秋の味覚・いも煮を味わいながら、交流を深めてもらうことを目的に毎年開催しています。

今年は、133名の参加を得て、女声コーラスすぎなの皆様の息の合った美しいハーモニーを聴きながら、おいしいいも煮を囲み交流しました。すぎなの皆様には、参加者の誰もが知っているような懐かしい歌謡曲や童謡などを選曲していただき、一緒に口ずさんだり、手拍子したりと和やかなひとときを過ごしました。

余興のカラオケでは、自慢の歌を披露する方がたくさんいて大いに盛り上がりました。帰りにはチェリーランド河川敷公園の満開のコスモス畑を車窓越しに見学。

深まる秋を満喫した一日となりました。



11/9

寒河江市ボランティアフェスティバル2014 ～広めよう 人の和 地域の輪～

11月9日(日)、ハートフルセンターを会場にボランティアフェスティバル2014を開催しました。市内では、55のボランティアグループ、27の個人ボランティアが様々な分野で活動しています。ボランティアが一堂に会し、日頃の活動を市民の皆様にご覧いただき、地域につなげ広げていくことを目的に毎年開催し、今年で14回目を迎えました。

当日は、老人福祉施設等で慰問活動を行っている寒河江高校吹奏楽部の演奏を始め、5つのグループがステージ発表し、各フロアに設けた、点字や傾聴、音訳、絵手紙や折り紙、ギター演奏、バルーンアートなどの体験コーナー、展示による活動紹介コーナー、懐かしの映画上映コーナーなど、大勢の方々が賑わいました。高校生による抹茶のサービスや100円喫茶コーナーも子供からお年寄りまで幅広い世代が思い思いに交流しました。



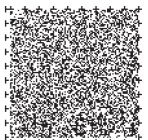
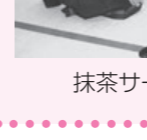
抹茶サービスコーナー



絵手紙コーナー



ステージ発表



受賞おめでとございます。

10月22日、河北町総合交流センター「サハトベに花」を会場に第64回山形県・県民福祉大会、12月8日に山形メディアタワーで平成26年度の愛の鳩賞の贈呈式が行われました。それぞれ、日頃の社会福祉活動のご功績に対し表彰状が贈られました。



◎第64回山形県・県民福祉大会

【厚生労働大臣表彰】

- ◆ボランティア功労者 学校
山形県立寒河江高等学校果樹園芸科
- ◆民生委員・児童委員功労者
渋谷昭儀（柴橋地区）
- ◆社会福祉事業従事者
土田 取（寒河江学園職員）
- ◆ボランティア功労者 個人
鈴木恵子（寒河江地区）
前山マサノ（西根地区）
相原優子（高松地区）

【大会会長表彰】

- ◆一般社会福祉事業関係功労者
加藤浩規（寒河江地区） 日下部 恵（寒河江学園職員）
- ◆社会福祉事業協賛・奉仕者（個人）
小野房子（寒河江地区）
- ◆社会福祉事業協賛・奉仕者（団体）
NTT - OB ボランティアグループ「愛のはと」
傾聴ボランティアはあとの会 さつき会 ひまわり会

◎平成26年度 愛の鳩賞

市報音訳音和（おとわ）の会

《敬称略》

厚生労働大臣 表彰を受賞して

寒河江高等学校 果樹園芸科
ボランティア愛好会ホワイト
3年 佐藤 晴蘭

私たちは今回の厚生労働大臣表彰をいただいたことをとても嬉しく思っています。愛好会として発足した平成16年から今日までの11年間のボランティア活動が認められたからです。始まりは羽前高松駅の清掃活動と、駅前の花壇に学校で育てた花苗を植えたことでした。それから地域の寝たきりのお年寄り宅を訪問してシクラメンやサイネリアの花鉢を届けました。この活動はやがて新聞やラジオでも紹介されるようになります。私たちの学校はいつしかボランティアの活発な学校として評判を得ました。全校生徒での国道沿いのゴミ拾いや通路路の除雪なども継続しています。これらの活動の背景には寒河江市など多くの方からの御支援と御協力がありました。皆様に心より感謝していただきます。ありがとうございます。



山新 「愛の鳩賞」を 受賞して

音和の会 阿部 和歌子

この度は、思いもよらず素晴らしい賞をいただき、心より感謝申し上げます。今まで14年も活動を続けられたのは、機材を寄付してくださったり場所を提供してくださった皆様方のご支援があったからと感謝の気持ちでいっぱいです。

私たちは、市内の中途視覚障がいの方たちに市の広報誌「市報さがえ」などを読み、テープに録音して届けているグループです。

私たちは、市のボランティア講習を受講した仲間です。仲間には少しの出入りはありませんが、現在は7人で活動しています。始めた年は、1本のテープに編集するのに半日以上かかったことなどが思い出されます。その後、寄付をいただき機材がそろい、今では2時間前後で作業が終わるようになりました。

利用者の方から、「今年もよろしく」などと便りをいただくのがいちばん嬉しいことです。体がじょうぶなうちは続けていきたいと仲間うちで話しあっています。皆様の中に、私たちと一緒にこの活動をしてみたい方はいらっしゃいますか。お待ちしております。



24時間テレビから 入浴専用車が贈呈 されました

本会訪問介護事業所では、自宅での入浴介護が必要な方に、入浴専用車でスタッフが訪問し、持参した浴槽を寝室等で組み立て、全身浴での洗身、洗髪などの介護保険サービスを提供しています。このたび、新たに、入浴専用車の贈呈がありました。

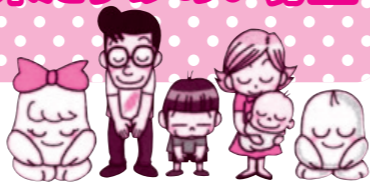
山形放送など放送事業者31社による24時間テレビ「愛は地球を救う」（平成26年度）チャリティ委員会からの福祉車両贈呈事業の中で決定されたもので、2月4日に山形メディアタワーで贈呈式がありました。

全国から寄せられた善意ある寄付金により贈られたもので、多くの方々からの温かい気持ちを大事にし、介護福祉の向上のため有効に活用させていただきます。



平成26年度 社協会費・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金 ご協力ありがとうございました

市民の皆様のあたたかいご支援に心からお礼申し上げます。



平成26年度 社会福祉協議会会費

合計 13,549,400円

地区名	一般		賛助	
	会員(世帯)	会費(円)	会員(世帯)	会費(円)
寒河江	4,818	5,781,600	75	154,200
南部	1,392	1,670,400	14	31,000
西根	1,111	1,333,200	42	85,200
柴橋	1,282	1,538,400	27	58,000
高松	766	919,200	31	62,000
醒醐	314	376,800	12	25,200
白岩	768	921,600	39	81,400
三泉	396	475,200	18	36,000
合計	10,847	13,016,400	258	533,000

【用途】〈社会福祉協議会の諸事業に充当しております〉

平成26年度 赤い羽根共同募金

合計 5,025,115円

- 戸別募金 3,441,845円
- 法人、大口募金 1,069,102円
- 街頭募金 139,693円
- 学校募金 197,631円
- 職域募金、その他の募金 176,844円

【用途】〈県共同募金会に集約され、翌年度、福祉施設や団体、社会福祉協議会の事業費として配分されます〉

平成26年度 歳末たすけあい募金

合計 2,757,869円

- 戸別募金 2,699,700円
 - 篤志募金 58,169円
- （曹洞宗青年会様 39,550円、匿名様 10,000円、加藤裕様 6,370円、匿名募金箱 2249円）

【用途】〈市内の要支援世帯、ひとり暮らし老人、寝たきり老人、心身障がい児・者等へ配分しました〉

ご寄付ありがとうございました ＝皆様のご厚情に心よりお礼申し上げます＝

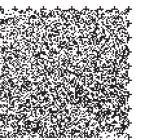
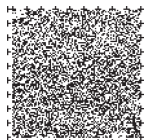
（平成26年7月1日～平成27年1月31日 までのご寄付を掲載しています。）

福祉のまちづくりのために

- ・伊藤 ちよへ 様
- ・匿名 様 100,000円
- ・民謡秀菫会 会主 辻 秀菫 様
- ・錦菫会 会長 早坂 錦光 様
- ・匿名 様

ふれあい給食利用者の皆様に

- ・寒河江市シルバー人材センター女性会員 様
手づくりランチオンマット 100枚



社協じょうほう

生活福祉資金制度のご案内

低所得世帯を対象に、資金の貸付や相談支援をすることで経済的自立や生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした制度です。

◆主な資金 福祉資金

- 技能習得、転居や住宅補修等にかかる費用他

◆教育支援資金

- 高校、大学、専門学校等の入学や修学に必要な費用
※その他、目的に応じた資金を貸付します。

◆貸付にあたって

- ・所得要件があり、所得や経費を証明する書類が必要です。
- ・原則として連帯保証人（県内在住の65歳未満の方）が必要です。
- ・母子寡婦福祉資金・日本学生支援機構の奨学金や各金融機関等の他の貸付制度の利用が優先です。
- ・貸付利率等は、資金の種類や条件により異なります。
- ・申請から償還完了まで、民生児童委員と本会が相談支援をおこないます。

◆貸付までの流れ

本会で相談受付し、関係機関や民生児童委員の意見を集約した上で、山形県社会福祉協議会で審査を行います。申込みから資金交付まで、3週間～1か月程度かかります。

平成27年度4～7月までの事業予定	
5/1	桜回廊巡り
5/8、6/10、7/9	健康教室3回
5/23	春の映画祭り
6/19	バラの花鑑賞会
6/26	あじさい鑑賞会
7/3	落語を楽しむ会
7/16、24	こんにやく懐石料理を食べる会
7/25	寒河江ダム見学会

老人福祉センターからのお知らせ

当センターは、白岩温泉に入浴できる、憩いの場として親しまれております。
また、皆さんが気軽に参加できる催しを様々予定しておりますので、お問い合わせのうえ、ご参加ください。

- 開館時間／10時から16時
- 使用料／150円（半日利用）
- 休館日／月曜日（月曜日が祝日の際は翌日）及び第3日曜日

○問合せ／市老人福祉センター
☎（87）1328



小さな温泉 大きな幸せ 白岩温泉

は～とふる ボランティア情報

ボランティア活動保険に加入しましょう

保険金の種類		ご加入プラン・保証金額
		Aプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円
	後遺障害保険金	1,200万円（限度額）
	入院保険金日額	6,500円
	入院中の手術	65,000円
	手術 保険金	外来の手術 32,500円 通院保証金日額 4,000円
賠償責任の補償	賠償責任保険（対人・対物共通）	5億円（限度額）
年間保険料	基本タイプ	Aプラン 300円

補償金額

平成27年4月1日から平成28年3月31日までとなります。年度途中の加入の場合は、加入手続き完了日の翌日から平成28年3月31日までとなります。

補償期間

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任を補償します。活動前には是非ご加入ください。保険料は年額300円から加入できます。（Bプラン・天災タイプもあります。）

補償内容

ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされた場合や、偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物をこわしたことから法律上の賠償責任を負わされた場合に保険をお支払いします。

ケガの補償

清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。

賠償責任の補償

家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。

ボランティア活動中にケガを被る場合や、活動中に他人にケガをさせた場合、ご加入の保険が有効です。

くらしの“あんしん”を「福祉サービス利用援助事業」のご案内



高齢者や障がいのある方など日常生活に不安のある方が、地域で安心して暮らせるように、本会が次のようなお手伝いをいたします。

- 福祉サービスを利用したいけれどどうすればいいのだろう。
- 通帳や印鑑書類などをどこに置いたか忘れてしまう。
- 銀行に行って年金や生活費の引き出しをすることが困難だ。

- 福祉サービス利用のお手伝い**
（福祉サービスの利用に関する情報提供、手続きのお手伝いや相談などをします。）
- 日常的な金銭の出し入れのお手伝い**
（預貯金の出し入れや預金の解約、医療費や公共料金などの支払いの手続き、代行など、毎日のくらしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。）
- 大切な書類等のお預かり**
（預金通帳、印鑑、年金証書、契約書などをお預かりして安全な場所で保管します。）

27年度の予約は3月より受付 福祉バス利用について

福祉バス（定員26人）は、社会福祉を目的とした大会や研修会への参加などに利用できます。

対象 福祉関係機関や福祉団体で実施する事業等

申込 予約は社協窓口及び電話で受付します。

27年度の予約は3月より受付 車いす・機材等貸出のおしらせ

車いすを必要とする方に一時的に車いすの貸出をしています。また、地域のふれあいがより活発に行われるよう機材の貸出をしています。町内会、子ども会、老人クラブ等の行事や集会等にご活用ください。どちらも利用料金は無料です。

- 車いす ●輪投げセット ●綿菓子機
- ポップコーン機 ●かき氷機
- バーベキュー用鉄板セット ●うす・杵

お問い合わせ 寒河江市社会福祉協議会 電話 83-3220

バルーンアートボランティア養成講座

～技を身につけ、みんなを笑顔にしよう～

1月17日、24日、2月7日の各土曜日の3日間、ハートフルセンターでバルーンアートボランティア養成講座を開催しました。

バルーンアートは、会場の装飾や、地域でのイベントや施設での催し物などで気軽にプレゼントできます。色々な技を身につけ、みんなを笑顔にできるようにと講座を開催しました。

退職して地域の集まりなどで何かやってみたくて参加した夫婦や高校生まで幅広い年齢の方々22人が参加しました。阿部秋徳さんの指導のもと風船をねじったりくぐしたり、はらはらドキドキしながらも3回目には自分の作った作品に満足の笑顔が見られるようになりました。今回受講した方々のバルーンアートが、地域でボランティアとして活動することを期待しています。



ボランティアグループからのお知らせ

市報音訊 おとわ 音和の会

声の広報テープをご利用ください。5日・20日発行の市報をテープに録音しています。視力に障がいのある方で利用したい方は、ボランティアセンターまで連絡ください。



寒河江昔語りの会

第14回

寒河江とんと昔のつどい

～みんな見に来てけらっしゅい～

日時：2月28日（土）

午後1時開演

場所：ハートフルセンター
多目的ホール

入場料：無料

出し物：◆涙や笑いの民話

◆寒河江の伝説

◆寸劇や童謡など



ボランティア赤帽志

懐かしの映画上映会

日時：2月22日（日）午後2時～
「たそがれ清兵衛」

～出演～

真田広之
宮沢りえ
岸 恵子



入場無料

日時：3月22日（日）午後2時～
「愛と死をみつめて」

～出演～

吉永小百合 浜田光夫 宇野重吉

場所：さんで～すて～じさがえ インフローラ

ボランティア募集

様々な専門知識や技術、趣味や特技をお持ちの方、ボランティアを通して社会貢献してみませんか。登録していただける方を募集しています。登録者には、ボランティアの紹介や情報を提供いたします。

また、寒河江市では65歳以上の方の介護施設等におけるボランティア活動に対しポイントを付与し、ポイントがたまると地域商品券と交換できる、『元気高齢者づくりポイント制度推進事業』を実施しています。

社会福祉協議会 | ☎ 83-3220・FAX 83-3221

訪問介護事業所・訪問入浴介護事業所
居宅介護支援事業所・居宅介護事業所
☎ 83-3207 FAX 83-3221

ボランティアセンター
☎ 83-3220
FAX 83-3221

老人福祉センター
☎ 87-1328
FAX 87-1330

総合子どもセンター
☎ 83-3225
FAX 83-3221

＜ホームページもご覧ください＞

寒河江市社協

検索 クリック

